

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

稲の生育は、近年値と比較すると、草丈はやや短く、莖数は少なめに推移しています。

中干しが不十分な場合は、幼穂形成期頃まで落水期間が長めの間断かん水を行い、適正な生育量（幼穂形成期の目標莖数470本/m²）へ誘導するとともに、根に水分と酸素を補給しましょう。

◇コシヒカリの生育状況（6月25日現在：黒部市生育調査ほ13カ所平均）

	田植日	草丈 (cm)	莖数(本)		葉齢	葉色
			株当たり	m ² 当たり		
R元年	5月13日	47.2	25.3	513	10.7	4.1
近年*	5月12日	52.5	26.5	520	10.9	4.3

※近年（H21～30平均）

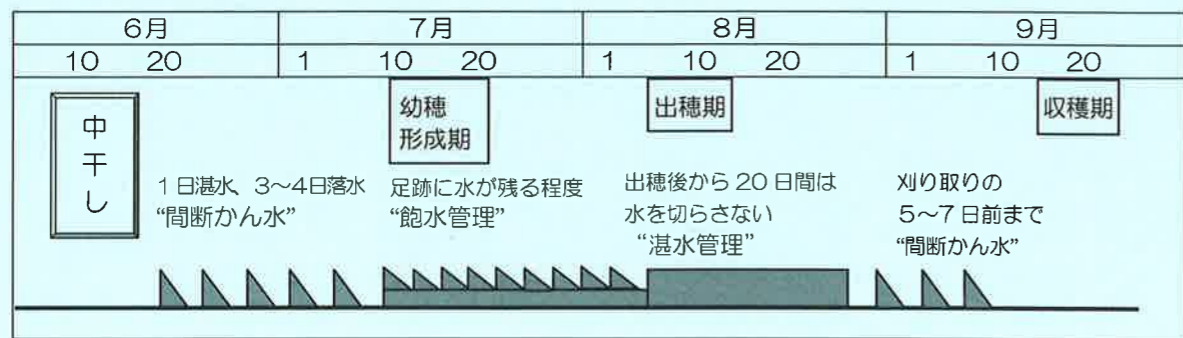
1. 中干し後の水管理

中干しが終わっていないほ場は、早急に実施しましょう。

中干しが終わった後は、幼穂形成期頃（近年：7月12日頃）まで「間断かん水」を行いましょう。ため水は厳禁です。

◆間断かん水の目安：1日湛水、3～4日落水。湛水時はヒタヒタ水で。
コシヒカリで、莖数が多く葉色が濃い場合や、中干しが不十分な場合は、落水期間を長くし、やや強めに干しましょう。
(注) 肥料を散布する場合は、湛水後に肥料散布し、その後1日で落水せず自然減水してから間断かん水に移ってください。

コシヒカリの水管理のイメージ



2. てんたかくの穂肥

(1) 一発基肥肥料栽培の場合

基本的には追肥は不要ですが、現在の葉色が4.2（山手 4.0）より淡い場合は、直ちに追肥3号で7kg/10a程度の追肥を行なって下さい。

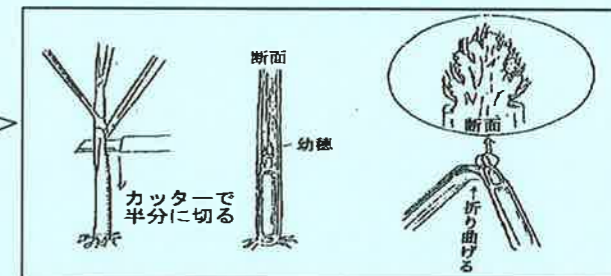
(2) 分施肥体系の場合

1回目（出穂25日前）			2回目（出穂15日前）	
幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
1～2mm	4.2	追肥3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	LP追肥38号 15kg/10a

※1回目の穂肥施用前に葉色が4.2以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い莖を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



3. 雑草・病害虫の随時防除

○雑草が残っている場合は、後期除草剤を散布しましょう。

除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
クリンチャー 1キロ粒剤	※1.5kg /10a	田植後25日～ ノビエ5葉期まで *収穫30日前まで	※増量散布によりヒエ5葉期に効果有 5cm程度の深水にして散布し、その後は 自然減水により管理。
バサグラン 粒剤	3～4kg /10a	田植後50日まで (クログワイは田植 後35日まで) *収穫60日前まで	落水して雑草を露出させ、晴天日を選ん で散布する。散布後3～4日間は水を入 れない。イネ科雑草以外に効果あり。

○畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬 ～7月上旬	トレボン粉剤DL	3～4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

4. カメムシ対策

雑草地すくい取り平均頭数
R1：9.3頭（H30：7.4頭）

雑草地のカメムシ類が多発しています。カメムシ類の「すみか」である畦畔や雑草地の草刈りを行いましょう。また、一斉草刈りの後は、できるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょう。

*刈り取った草は、用水に流さないように注意して下さい。

草刈り運動期間 7月1日（土）～10日（月）
一斉草刈り日 7月6日（土）・7日（日）
※草刈り時は、作業者は基より周辺環境（歩行者、車両等）も含めて事故防止に努めましょう。

